

アクサ生命 2012年度第3四半期末（2012年4月1日～12月31日）の業績を発表

アクサ生命保険株式会社（本社：東京都港区、代表執行役社長兼 CEO：ジャン＝ルイ・ローラン・ジョシ）は、日本の会計基準に基づく2012年度（平成24年度）第3四半期末の業績を発表しました。

収入指標

- ・ 新契約年換算保険料は、前年同期比 3.7%増の 651 億円
- ・ 保険料等収入は、前年同期比 6.7%増の 5,232 億円

収益指標

- ・ 基礎利益は、前年同期比 9.5%減の 392 億円
（前年同期における一時的要因*を除いた場合の基礎利益は、主に売上増加に伴う新契約費用の増加により 6.4%減）
- ・ 純利益は、前年同期比 39.2%増の 210 億円

* 前年同期の主な一時的要因は東日本大震災に伴う保険金等の支払に備えた準備金の取崩しによるもの。

財務基盤

- ・ ソルベンシー・マージン比率は、2011年度末から 57 ポイント増加し 656.6%
- ・ 実質純資産は 5,992 億円と、2011年度末の 5,521 億円から増加

アクサ ジャパン ホールディングおよびアクサ生命の代表執行役社長兼 CEO、ジャン＝ルイ・ローラン・ジョシは、次のようにコメントしています：

「販売増加のトレンドが継続し堅調な業績を維持した。昨年度投入した『アクサの「治療保障」のがん保険』や『アクサのメディカルアシスタンスサービス』とともに、今年度投入した医療保障分野の革新的な新商品と新サービスは、お客さまからご好評をいただいている。」

「今年度投入した新商品・新サービスは、健康状態に不安を抱えるお客さまに、合理的な保険料で充実した保障をご提供することができる『アクサの「一生保障」の医療保険 OK メディカル』、そして先進医療の分野で業界屈指の幅広い保障をご提供することができる『先進医療まるごとサポート』。これらは好評を得て、新契約件数はそれぞれ 29,700 件、97,700 件となった。」

「また、お客さまの増加にあわせて、医療保障分野のサービス拡充を目指し、『アクサの糖尿病サポートサービス』を投入し、サービス対象を『アクサのメディカルアシスタンスサービス』が付帯される商品に拡大した。これによって、サービスをご利用いただけるお客さまは、15 万件から 53 万件へ飛躍的に広がり、より多くのお客さまに充実したサービスをご利用いただくことができるようになった。」

「財務面では、堅固なリスク管理および資産運用の専門的な知見とノウハウによって、ソルベンシー・マージン比率が 2011 年度末の 599.5%から 656.6%に増加するなど、バランスシートの強化を実現した。」

重要

本業績は日本の会計基準に基づくものであり、AXA グループに連結する際に用いる IFRS（国際財務報告基準）ベースの数値とは異なります。

アクサ生命について

アクサ生命は AXA のメンバーカンパニーとして 1994 年に設立されました。AXA が世界で培ってきた知識と経験を活かし、200 万の個人、2,500 の企業・団体のお客さまに、死亡保障や医療・がん保障、年金、資産形成などの幅広い商品を、多様な販売チャネルを通じてお届けしています。2011 年度には、2,510 億円の保険金や年金、給付金をお支払いしています。

AXAグループについて

AXAは世界57ヶ国で16万3000人の従業員を擁し、1億100万人のお客さまにサービスを提供する、保険および資産運用分野の世界的なリーディングカンパニーです。国際会計基準に基づく2011年度通期の売上は861億ユーロ、アンダーライング・アーニングス（基本利益）は39億ユーロ、2011年12月31日時点における運用資産総額は1兆790億ユーロにのぼります。AXAはユーロネクスト・パリのコンパートメントAに上場しており、AXAの米国預託株式はOTC QXプラットフォームで取引されています。また、ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス（DJSI）やFTSE4GOODなどの国際的な主要SRIインデックスの構成銘柄として採用されており、国連環境計画・金融イニシアチブ（UNEP FI）による「持続可能な保険原則（PSI）」に署名しています。詳細はwww.axa.comをご参照ください。

～本件に関するお問い合わせは下記までお願いいたします～

アクサ生命保険株式会社 広報部
電話：03-6737-7140 FAX：03-6737-5964
<http://www.axa.co.jp/life>

添付資料

アクサ生命保険株式会社 2012 年度第 3 四半期末主要業績

(1) 個人保険・個人年金保険の年換算保険料

1. 新契約の年換算保険料

(単位:百万円、%)

	2011 年度第 3 四半期累計期間	2012 年度第 3 四半期累計期間	前年同期比
個人保険	25,491	28,131	110.4
個人年金保険	37,357	37,032	99.1
合計	62,848	65,163	103.7
うち医療保障・生前給付保障等	11,783	13,652	115.9

2. 保有契約の年換算保険料

(単位:百万円、%)

	2011 年度末	2012 年度第 3 四半期会計期間末	前年度末比
個人保険	387,161	384,215	99.2
個人年金保険	175,783	180,621	102.8
合計	562,944	564,837	100.3
うち医療保障・生前給付保障等	195,856	195,339	99.7

(2) 保険料等収入

(単位:百万円、%)

	2011 年度第 3 四半期累計期間	2012 年度第 3 四半期累計期間	前年同期比
保険料等収入	490,360	523,213	106.7

(3) 基礎利益

(単位:百万円、%)

	2011 年度第 3 四半期累計期間	2012 年度第 3 四半期累計期間	前年同期比
基礎利益	43,382	39,277	90.5

(4) 純利益

(単位:百万円、%)

	2011 年度第 3 四半期累計期間	2012 年度第 3 四半期累計期間	前年同期比
純利益	15,151	21,095	139.2

(5) 事業費

(単位:百万円、%)

	2011 年度第 3 四半期累計期間	2012 年度第 3 四半期累計期間	前年同期比
事業費	72,740	75,582	103.9